

IT(情報技術)の楽しさに触れる「IT津梁まつり2014」が31日、2日間の日程で宜野湾市民体育館で開幕した。県内の高校や専門学校、大学19校の学生が、自分たちで作ったIT作品や研究内容を



ITの仕事や楽しさを紹介する「IT津梁まつり2014」31日、宜野湾市民体育館

身近なIT 触れて、見て

宜野湾 きょうまで津梁まつり

発表している。県内IT企業32社、各関係団体も出展し、商品やサービスなどを紹介。参加者はITの仕事に興味を持ってもらおうと、子どもから大人まで多くの来場を呼び掛けている。



学生たちはアプリや自動で走るマイコンカーなどを発表している。美来工科高校ITシステム科の生徒は電話帳アプリ作りの体験ができるコーナーを設置し、プログラミングの方法を紹介している。同科1年の仲村咲絵さん(16)は「ITは発展し、生活にとっても身近になっている。ITが今後どうなるのか、会場でたくさん感じられると思う」と話した。会場ではアニメーション作りやロボットを動かすなどの体験教室もある。まつりはIT産業人材確保支援コンソーシアムと県が主催した。